

歴代会長

初代	吉田 保	(昭和28年4月～昭和33年3月)	八代	栗原 茂	(昭和61年4月～昭和63年3月)
二代	山下 さだ	(昭和33年4月～昭和37年3月)	九代	今井 一市郎	(昭和63年4月～平成 5年3月)
三代	柄沢 忠治	(昭和37年4月～昭和49年3月)	十代	横倉 正志	(平成 5年4月～平成18年3月)
四代	天野 恒久	(昭和49年4月～昭和53年3月)	十一代	石田 隆	(平成18年4月～平成24年7月)
五代	島村 健一	(昭和53年4月～昭和57年3月)	十二代	植田 日出子	(平成24年7月～平成26年3月)
六代	松本 昇	(昭和57年4月～昭和59年3月)	十三代	深沢 清一	(平成26年4月～)
七代	下沢 光一	(昭和59年4月～昭和61年3月)			

町会の歴史

昭和41年頃まで、ここ一帯の住所は栄町通り一丁目何番地というものでした。栄町通り一丁目、したがって町会名も「栄一町会」として、今日に至っています。

現在の方南通りも昔は通称“栄町通り”と呼ばれ、沿道には商店も多くありました。昭和42年に現在の住居表示に変わり、方南通りを挟んで南は南台、北は弥生町となり、街が分断されるようになりました。

その後、方南通りの拡幅により民家が次々に建て替えられ、マンションが多く建ち並び、街の景観は一変。戦後厳しい時代の中にあって、少しでも街のため、住民のためにと先人たちは町民館を建て、祭壇を購入し、葬儀も町会の役員が執り行うなど、その努力には、本当に頭が下がる思いです。町民館は現在の場所に栄一会館と姿を変え、葬儀も継承されています。先人たちが作り上げて来た60年余りの歴史と良き伝統を守り続けて行きたいと思っています。

町会の組織

総務部、厚生部、会計部、福祉部、交通部、防犯部、防火防災部、青少年部、広報部、環境衛生部、女性部の11部、それぞれ部長を置き、また町内を29ブロックに分け、ブロック幹事と役員、住民との連携を密にし、良好な地域社会の維持発展のために活動しています。

- (1) 会員相互の連絡、親睦
- (2) 集会施設、掲示板の維持管理
- (3) 防犯、防火防災、交通安全
- (4) 美化、環境の保全

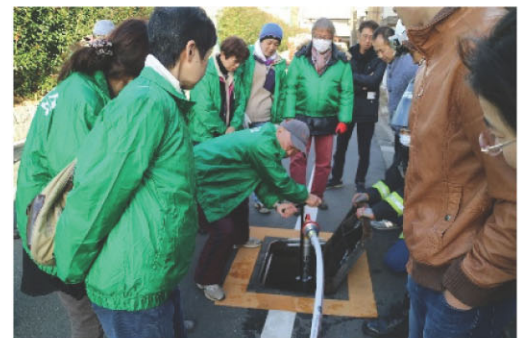
町会の特徴及び活動

栄一町会には外郭団体として栄一睦会、老人クラブとして福祉・健康クラブ21、栄一青年会、栄一子供会があり、相互に連携を取りながら、町会独自の行事として11月栄一フェスティバル、防災訓練、12月夜警、2月餅つき大会、3月親睦旅行など実施し、地域の皆様との交流を図っています。

今後の課題

外郭団体との密な連携・支援および町会の役員をはじめとする地域活動の担い手育成。

そして、町会加入者の促進および、とりわけ一人暮らしの高齢者の見守りについては、住民の方々の協力を仰ぎながら“向こう三軒両隣”の精神で、孤独死を出さないことが課題として挙げられると思います。そのような町会になれば、震災時においてもお互い助け合い、安心・安全の街の実現に繋がっていくと思います。



スタンドパイプ訓練